

ポスター発表(学生会員)

28日 コアタイム: 奇数番号 13:00~14:00, 偶数番号 14:00~15:00

29日 コアタイム: 奇数偶数ともに 13:00~14:00 (ポスター賞授賞式 13.30~)

PS001	グリシンベタイン: ネムノキに含まれるキタキチョウ産卵刺激物質 ○大橋 駿樹 ¹ ・大村 尚 ² (広島大・生物生産 ¹ ・広島大院・生物圏科学 ²)
PS002	ウメの葯が発する蛍光とミツバチの訪花行動の化学生態学 ○森 信之介 ¹ ・川上 真理 ¹ ・大石 雅典 ¹ ・福井 宏至 ² ・後藤 勝実 ³ ・月岡 淳子 ³ ・佐久間 正幸 ¹ ・中西 テツ ⁴ ・渡辺 正夫 ⁵ ・平井 伸博 ¹ (京都大院農 ¹ ・香川大名誉教授 ² ・京都薬科大薬用植物園 ³ ・神戸大名誉教授 ⁴ ・東北大院生命科学 ⁵)
PS003	ローヤルゼリーに含有されるタバコシバンムシ誘引物質の解明(3) ○南木 淳志・奥野 由里・神蘭 奈津子・小鯛 哲也・中谷 尊史 (摂南大薬)
PS004	アリはアブラムシのもつ分枝アルカン群を共生者認識因子に用いる? ○坂田 至・林 正幸・中牟田 潔 (千葉大院・園芸)
PS005	ケルミホソガの寄主転換とホストレース分化に関する生理活性物質の探索 ○小林 拓矢 ¹ ・下田 将大 ¹ ・勝手 智子 ¹ ・手嶋 伸 ¹ ・大島 一正 ² ・西田 律夫 ¹ ・小野 肇 ¹ (京大院・農 ¹ ・京都府大院・生命環境 ²)
PS006	なぜアブラナ科植物を食べたアワヨトウは寄生蜂に強いのか -原因植物成分の探索- ○藏満 司夢 ^{1,2} ・松山 茂 ¹ ・戒能 洋一 ¹ (筑波大・生命環境 ¹ ・学振DC ^{1,2})
PS007	Floral attractiveness of <i>Cotesia kariyai</i> wasps and chemical analysis of carrot volatiles ○HOSSAINI Ali・MATSUYAMA Shigeru・KAINOH Yooichi (University of Tsukuba)
PS008	Host-infested cucumber volatiles as a cue for <i>Apanteles taragamae</i> to locate their host ○Nurkomar Ihsan ^{1,2} ・Buchori Damayanti ¹ ・Matsuyama Shigeru ² ・Kainoh Yooichi ² (Bogor Agricultural University ¹ ・University of Tsukuba ²)
PS009	2,3-alkanediolのカミキリムシに対する誘引性について ○桐谷 伊織里 ¹ ・Lawrence M Hanks ² ・Jocelyn G Millar ³ ・中牟田 潔 ⁴ (千葉大・園芸 ¹ ・Univ of Illinois, Urbana ² ・Univ California, Riverside ³ ・千葉大・院・園芸 ⁴)
PS010	フタホシオオロギは体表炭化水素中のアルケン類が雄の闘争行動を解発する ○亀原 隆・松崎 俊治・秋野 順治 (京都工芸繊維大学)
PS011	Host-infested plant volatiles from pear shoot for the larval parasitoid <i>Lytopylus rufipes</i> ○Liu ChiaMing ¹ ・Matsuyama Shigeru ¹ ・Sasaki Masatake ² ・Arakawa Akihiro ² ・Kainoh Yooichi ¹ (Univ. Tsukuba ¹ ・Fukushima Pref. ²)
PS012	北海道の四季成りイチゴ栽培における生物的防除を基幹としたIPM ○三上 翔 ¹ ・小松 遥香 ² ・石倉 鈴風 ¹ ・太刀野 真 ³ ・小池 正徳 ¹ ・相内 大吾 ¹ (帯畜大 環境微生物 ¹ ・足寄町役場 ² ・JAあしよ ³)
PS013	屋外環境を屋内に再現する閉鎖型環境シミュレータの開発 山下 実樹康 (東京農工大BASE)
PS014	高温条件下における高濃度二酸化炭素処理がナミハダニ(ダニ目:ハダニ科)雌成虫および卵に及ぼす影響 ○板垣 有紀 ¹ ・加藤 寛 ¹ ・香川 清彦 ¹ ・園田 昌司 ¹ ・村井 保 ² (宇都宮大・農 ¹ ・アグリクリニック研究所 ²)
PS015	産卵時の寄主の発育段階が内部寄生蜂の卵と1齢幼虫の体サイズや発育期間に及ぼす影響 ○田口 大輔 ¹ ・阿部 芳久 ² (九大院・地社 ¹ ・九大院・比文 ²)
PS016	ムラサキシジミに対する卵寄生蜂と幼虫寄生蜂の寄生戦略 ○小林 ゆい ¹ ・望岡 佑佳里 ¹ ・末松 俊二 ¹ ・安達 修平 ² ・徳田 誠 ¹ (佐賀大・農 ¹ ・鹿大院・連合農学 ²)
PS017	ゾウムシコガネコバチの寄主切り替えによる選好性スイッチングの検証 ○古瀬 郁子 ¹ ・柴尾 晴信 ² ・松山 茂 ² ・嶋田 正和 ¹ (東大・総合文化 ¹ ・筑波大・生命環境 ²)
PS018	ヤドリバエ幼虫の『バリア構造物』はホストの包圍化とは異なる! ○張 凱 ¹ ・一木 良子 ² ・中村 達 ³ ・古川 誠一 ³ (筑波大生資 ¹ ・国際農研 ² ・筑波大生命環境 ³)
PS019	異なる植食者の唾液内共生菌が影響する植物-植食者間相互作用 ○森田 美紀 ¹ ・山崎 廉予 ¹ ・Ivan Galis ² ・北條 優子 ² ・新屋 友規 ² ・有村 源一郎 ¹ (東京理科大学・生物工 ¹ ・岡山大学資源植物科学研究所 ²)
PS020	異なる生殖操作を起こす2系統の <i>Wolbachia</i> (wClとwFem) がキチョウ姉妹種の宿主ミトコンドリアの分化へ及ぼす影響について ○宮田 真衣 ¹ ・野村 昌史 ¹ ・陰山 大輔 ² (千葉大院 応用昆虫 ¹ ・農研機構 ²)
PS021	高等シロアリ腸内共生原生生物の多様性と木質分解への寄与 ○守川 貴裕 ¹ ・猪飼 桂 ¹ ・高橋 雄大 ¹ ・金井 英樹 ¹ ・大熊 盛也 ² ・井上 徹志 ³ ・山田 明徳 ³ ・本郷 裕一 ^{1,2} (東工大・生命理工 ¹ ・理研・JCM ² ・長崎大・水産 ³)
PS022	愛知県犬山市産の <i>Ostrinia</i> 属における共生細菌によらない性比異常現象 ○濱中 陽子 ¹ ・福井 崇弘 ¹ ・藤井 毅 ^{1,2} ・石川 幸男 ¹ ・嶋田 透 ¹ ・勝間 進 ¹ (東大院・農 ¹ ・農工大院・農 ²)
PS023	ミナミアオカメムシではなぜ共生細菌の種内多型が生じていないのか? ○今西 萌美・細川 貴弘 (九大・理)
PS024	タバココナジラミの内部共生系成立に関わる菌細胞特異的高発現遺伝子の解析 ○宇津野 寿仁 ¹ ・吉武 和敏 ² ・重信 秀治 ³ ・藤原 亜希子 ⁴ ・土 田 努 ¹ (富山大・大学院・理工 ¹ ・JSM ² ・基生研・生物機能 ³ ・理研・CSRS ⁴)
PS025	共生細菌による体色変化への応答が異なるアブラムシ系統を用いた、体色変化誘導時期および内分泌系への影響の解析 ○大西 浩平 ¹ ・木下 朱樹 ² ・土 田 努 ¹ (富山大・院・理工 ¹ ・富山大・理 ²)
PS026	台湾から得られたチャハマキ性比異常系統の性状解析 ○新井 大 ¹ ・Shiou-Ruei Lin ² ・仲井 まどか ¹ ・国見 裕久 ¹ ・井上 真紀 ¹ (農工大院・農 ¹ ・台湾茶業改良所 ²)
PS027	ノコギリカメムシの外部共生器官の構造および共生真菌の卵表面への伝達 ○西野 貴騎 ^{1,2} ・棚橋 薫彦 ² ・向井 裕美 ³ ・細川 貴弘 ⁴ ・立川 周二 ⁵ ・深津 武馬 ^{1,2} (筑波大院 ¹ ・産総研 ² ・森林総研 ³ ・九州大 ⁴ ・NAREC ⁵)
PS028	おなかの中ではちがう顔~共生細菌 <i>Burkholderia</i> の形がホソヘリカメムシ共生時に変化するのはなぜ? ○後藤 葉 ¹ ・竹下 和貴 ² ・大林 翼 ¹ ・松浦 優 ² ・菊池 義智 ^{1,3} (北大院・農 ¹ ・琉球大・熱生研 ² ・産総研・生物プロセス ³)
PS029	テナガショウジョウバエにおける精子競争のジレンマと求愛行動leg vibrationの効果 ○嶺川 一喜・石川 幸男・松尾 隆嗣 (東大・農)
PS030	シヨクガタマバエの余剰捕殺行動はギルド内捕食回避として機能するか ○山本 裕生・野村 昌史 (千葉大院・園芸・応用昆虫)
PS031	ワモンゴキブリの集合フェロモンに反応する感覚子の同定 ○立石 康介 ¹ ・渡邊 英博 ¹ ・田中 真史 ² ・佐久間 正幸 ² ・横張 文男 ¹ (福岡大学・理・地球圏 ¹ ・京都大学・農院・応用生物 ²)
PS032	テナガショウジョウバエのメスにおける交尾受容性を制御する遺伝子座の研究 ○等 百合佳 ¹ ・内山 博允 ² ・足達 太郎 ² ・石川 幸男 ¹ ・松尾 隆嗣 ¹ (東大農 ¹ ・東京農大 ²)
PS033	ギルド内被食者は同じ産卵場所を選好するギルド内捕食者から卵を守るのか? ○齋藤 史明 ¹ ・長 泰行 ² (千葉大 応用昆虫 ¹ ・千葉大院 応用昆虫 ²)
PS034	熱帯太平洋に生息するセンタウミアメンボの低温耐性能に見られる温度順化現象と高温ショック ○古木 隆寛 ¹ ・藤田 大輝 ¹ ・中城 満 ² ・片桐 千帆 ³ ・コスチャル ウラジミル ⁴ ・原田 哲夫 ¹ (高知大・院・環境生理 ¹ ・高知大・院・理科教育 ² ・東京電機大 ³ ・チェコ科学アカデミー ⁴)
PS035	アブラムシによる捕食回避のための準備:採餌の中断が捕食回避に与える影響 ○玉井 一彦・長 泰行 (千葉大学院応用昆虫)

PS036	カラスノエンドウにおける花外蜜の分泌場所がアリの探索行動に及ぼす影響 ○中嶋 ひかる ¹ ・安達 修平 ² ・木下 智章 ¹ ・徳田 誠 ¹ (佐賀大・農 ¹ ・鹿大院・連合農学 ²)
PS037	自然の温度と光条件におけるマダラスズミの歩行活動リズム ○藤田 諭・遠藤 淳・沼田 英治 (京大・院理)
PS038	クロコガネ属における概倍日リズムの出現と分子系統解析 ○大村 悠弦 ¹ ・河崎 裕太 ² ・志賀 向子 ¹ (大阪大・理 ¹ ・大阪市大・院理 ²)
PS039	外来種の分布拡大:他の市町村への侵入速度とプロセス ○城戸 咲恵・村瀬 香 (名古屋市立大学大学院)
PS040	シロアリの兵隊カーストにみられる齢分業と性分業の発見 ○柳原 早希・末広 亘・松浦 健二 (京大院・農・昆虫生態)
PS041	ヤマトシロアリにおける免疫関連遺伝子のカースト・性・年齢特異的な発現 ○三高 雄希・小林 和也・松浦 健二 (京大院・農・昆虫生態)
PS042	クロマルハナバチのワーカーにおける花粉摂取と卵巣発達 ○田中 千聡 ¹ ・日下石 碧 ³ ・神戸 裕哉 ² ・光畑 雅宏 ² ・横井 智之 ³ (筑波大・生物 ¹ ・アリストライフサイエンス(株) ² ・筑波大・保全生態 ³)
PS043	トビイロシワアリが獲物の捕獲成功を確実にするために伝達する情報は何か ○中村 哲朗・秋野 順治 (京工織大)
PS044	女王の多回交尾が利益をもたらす要因—病気への抵抗性仮説の検証— ○佐賀 達矢 ^{1,2} ・奥野 正樹 ³ ・大林 夏湖 ^{1,4} ・岡田 泰和 ¹ ・嶋田 正和 ¹ (東大院,広域 ¹ ・岐阜県,大垣桜高 ² ・農研機構,新素材 ³ ・京大,生態研セ ⁴)
PS045	シロアリの脳内ニューロパイル及び触角葉系球体構成のカースト間比較 ○古賀 晴華 ¹ ・渡邊 英博 ¹ ・西野 浩史 ² ・北條 優 ³ ・大村 和香子 ⁴ ・高梨 琢磨 ⁴ ・横張 文男 ¹ (福岡大・理・地球圏 ¹ ・北海道大・電子研 ² ・国際科学振興財団 ³ ・森林総研 ⁴)
PS046	日本在来種トラマルハナバチに感染している微胞子虫の感染実態 ○柳澤 太洋 ¹ ・光畑 雅宏 ² ・国見 裕久 ¹ ・仲井 まどか ¹ ・井上 真紀 ¹ (農工大・農 ¹ ・アリストライフサイエンス(株) ²)
PS047	日本に生息するミツバチ属における微胞子虫 <i>Nosema ceranae</i> の感染影響調査 ○保坂 祐輝 ¹ ・佐々木 太陽 ² ・国見 裕久 ² ・仲井 まどか ² ・井上 真紀 ² (農工大 農 ¹ ・農工大 農 ²)
PS048	セイヨウミツバチによる対スズメバチ熱蜂球 “誰” に対してするのか? ○細野 翔平 ¹ ・中村 純 ² ・小野 正人 ¹ (玉大院・農 ¹ ・玉大・ミツバチ ²)
PS049	地球温暖化は本州北限付近のセイタカアワダチソウを利用する昆虫にどのように作用するか? ○安達 修平 ¹ ・城所 隆 ² ・千葉 美智雄 ³ ・徳田 誠 ⁴ (鹿大院・連合農学 ¹ ・名取市 ² ・仙台三高 ³ ・佐賀大・農 ⁴)
PS050	コオニヤンマ幼虫における体色の雌雄差 小島 崇史 ² ・黒木 出 ¹ ・中村 圭司 ¹ (岡山理大 生地 ¹ ・豊田市文化振興財団 ²)
PS051	ナミクバエの光周性における臨界日長の地理系統差と光周測時機構 ○山口 幸紀・後藤 慎介 (大阪市大・院理)
PS052	高温がツヤアオカメムシの発育に与える影響 ○綱島 彩香・糸山 享 (明治大院・農)
PS053	キタキチョウの晩秋個体群における夏型オスの頻度と冬の厳しさ ○小長谷 達郎・沼田 英治 (京大・院理)
PS054	水田のタニシを中心とした多様な種間相互作用: マルタニシとヒメタニシの排他的分布を形づくる繁殖干渉の可能性 ○高柳 春希・西田 隆義 (滋賀県大院・環境科学)
PS055	ミント香気成分を介した植物間コミュニケーション ○助川 聖・塩尻 かおり ² ・有村 源一郎 ¹ (東京理科大・基礎工 ¹ ・龍谷大・農 ²)
PS056	ムラサキツバメはなぜ新芽から離れた場所に産卵するのか ○望岡 佑佳里・中林 ゆい・木下 智章・大橋 英純・徳田 誠 (佐大・農)
PS057	ミント香気成分のカブリダニ種の行動に及ぼす影響 ○富樫 和樹・Hojun Rim・有村 源一郎 (東京理科大学生物工)
PS058	ニホンミツバチ <i>Apis cerana japonica</i> とセイヨウミツバチ <i>Apis mellifera</i> の屋外における訪花パターンの比較 ○龍野 瑞甫・大澤 直哉 (京大・農・森林生態)
PS059	スミスアケハダニの休眠誘導における温度周期反応 ○高野 友二郎・後藤 哲雄 (茨城大・農・応動昆)
PS060	チョウ類における集合性の進化 ○加藤 三歩 ^{1,3} ・北村 宗明 ² ・北村 滯 ² ・辻 和希 ^{1,3} (鹿大・連合農 ¹ ・辺土名高校 ² ・琉大・農 ³)
PS061	オオイヌタデの防御形質二型はいかにして維持されているか ○松田 浩輝・白濱 祥平・徳田 誠 (佐賀大・農)
PS062	インドネシアに同所的に生息するミカンコミバエ種群2種の産卵選好性 ○山上 繁政 ¹ ・Sujiono ² ・西田 隆義 ¹ ・沢田 裕一 ¹ ・高倉 耕一 ¹ (滋賀県大 ¹ ・BBPOPT ²)
PS063	オオムギに含まれるトノサマバタ摂食阻害活性物質の探索 ○小西 令子 ¹ ・石丸 幹二 ¹ ・上野 大介 ¹ ・田中 誠二 ² ・川浦 香奈子 ³ ・徳田 誠 ¹ (佐賀大・農 ¹ ・農食機構・昆虫領域 ² ・横浜市大 ³)
PS064	イチゴハムシにおける翅多形の地理的分布と遺伝様式および分散・繁殖形質間のトレード・オフ ○那須 翔太 ¹ ・今坂 正一 ² ・鈴木 邦雄 ³ ・保科 英人 ⁴ ・菅野 紘男 ⁵ ・須山 知香 ⁶ ・徳田 誠 ¹ (佐賀大・農 ¹ ・久留米市 ² ・射水市 ³ ・福井大・教育 ⁴ ・上越市 ⁵ ・岐阜大・教育 ⁶)
PS065	水田におけるアシナガグモ類の個体数を支える「代替餌」と「代替生息地」 ○筒井 優 ¹ ・馬場 友希 ² ・田中 幸一 ² ・宮下 直 ¹ (東大・農 ¹ ・農研機構・農環研 ²)
PS066	高温高湿度環境がホソヒメヒラタアブの発育速度と捕食量に及ぼす影響 ○根本 太一 ¹ ・野村 昌史 ² (千葉大 応用昆虫 ¹ ・千葉大院 応用昆虫 ²)
PS067	マイマイガ健全虫におけるマイマイガ核多角体病ウイルス遺伝子の検出 ○芳賀 友里 ¹ ・新井 大 ² ・佐野 朋也 ² ・国見 裕久 ² ・仲井 まどか ² ・井上 真紀 ² (農工大・農 ¹ ・農工大 農 ²)
PS068	天敵の安定性・持続性を高める天敵温存植物:花粉や花蜜が捕食者のパフォーマンスを左右 ○古嶋 慧・大野 和朗 (宮崎大農)
PS069	エクジステロイド生合成制御因子 Noppera-bo の生化学的・構造生物学的解析 ○稲葉 和恵 ¹ ・小祝 孝太郎 ² ・諸橋 香奈 ¹ ・塩谷 天 ¹ ・小島 宏建 ³ ・岡部 隆義 ³ ・長野 哲雄 ³ ・井上 英史 ⁴ ・藤川 雄太 ⁴ ・湯本 史明 ² ・千田 俊哉 ² ・丹羽 隆介 ¹ (筑波大・生命環境 ¹ ・高工ネ研・物構研・構造生物 ² ・東大・創薬機構 ³ ・東京薬大・生命科学 ⁴)
PS070	コクヌストモドキの産卵と胚発生における幼若ホルモン関連遺伝子の機能解析 ○成瀬 祥矢・三浦 健・水口 智江可 (名古屋大院・生命農学)
PS071	アワヨトウにカリヤコマユバチが寄生するとなぜ異物に対して包囲化作用がおこらないか ○松谷 広志 ¹ ・奥村 雄暉 ¹ ・北山 紗希 ¹ ・加藤 良晃 ² ・田中 利治 ³ ・中松 豊 ¹ (皇學館大・教育 ¹ ・BASF ² ・名大・農国セ ³)
PS072	フジコナカイガラムシにおけるエクダイソン初期応答遺伝子 E75 の cDNA クローニングと発現解析 ○辻 知広 ¹ ・Isabelle Vea ¹ ・塩月 孝博 ² ・上樂 明也 ² ・三浦 健 ¹ ・水口 智江可 ¹ (名大院 生命農学 ¹ ・農研機構 ²)
PS073	コクヌストモドキのIMD経路:AMP産生応答の終結メカニズムの解析 ○北本 篤志・横井 翔・澤田 光希・関 公貴・水口 智江可・三浦 健 (名大院・生命農)

PS074	チャバネアオカメムシ光周性における時計遺伝子 <i>cycle</i> およびアラタ体抑制因子遺伝子 <i>Myoinhibitory peptide</i> のはたらき ○玉井 貴章 ¹ ・志賀 向子 ^{1,2} ・後藤 慎介 ¹ (大阪市大院理 ¹ ・大阪大院理 ²)
PS075	エクジステロイド生合成組織へのコレステロール供給システムの解明 ○竹島 実加・山下 雄佑・荻原 麻理・片岡 宏誌 (東京大学・新領域)
PS076	イソフルランがキョウソヤドリコバチの概日時計に及ぼす影響 ○向井 歩・後藤 慎介 (大阪市大・院理)
PS077	ニカメイガ <i>Chilo suppressalis</i> の凍結耐性機構に関わるアクアポリンの探索 ○藤原 希 ¹ ・泉 洋平 ¹ ・丸山 麻理弥 ² ・東 政明 ² (島根大・生物資源 ¹ ・鳥取大・農 ²)
PS078	栄養刺激によるマダニの卵黄形成制御機構の解明 ○中武 彰子 ¹ ・手島 悠之 ¹ ・荻原 麻理 ² ・Taylor DeMar ¹ (筑波大学・生命環境 ¹ ・東京大学・新領域 ²)
PS079	ナミハダニへのマイクロインジェクション法の検討 ○柴谷 駿・鈴木 丈詞 (農工大 院 BASE)
PS080	UVB照射がアカシジロを介してナミハダニに及ぼす間接効果 ○富森 大地 ¹ ・細川 宗孝 ² ・刑部 正博 ¹ (京大院農・生態情報 ¹ ・京大院農・蔬菜花卉 ²)
PS081	不揮発性生理活性物質に対するナミハダニの定位行動の定量的評価法 ○笹屋 一大 ¹ ・山本 雅信 ² ・鈴木 丈詞 ² (農工大・農 ¹ ・農工大 院・BASE ²)
PS082	ダイスシストセンチュウの硝酸イオンへの誘引 ○細井 昂人 ¹ ・吉田 ひかり ² ・勝山 勉 ¹ ・近藤 竜彦 ³ ・佐々木 康幸 ² ・矢嶋 俊介 ² ・伊藤 晋作 ² (東農大院・農学研究科 ¹ ・東農大・バイオ ² ・名大院・生命農学 ³)
PS083	ショウジョウバエのエクジステロイド生合成を制御する神経細胞群の同定 ○井村 英輔 ¹ ・近藤 周 ² ・谷本 拓 ³ ・島田-丹羽 裕子 ⁴ ・丹羽 隆介 ¹ (筑波大・生命環境 ¹ ・NIG ² ・東北大・院生命 ³ ・筑波大・TARAセ ⁴)
PS084	味覚受容体遺伝子から辿るジェネラリスト植食者の進化 ○鈴木 啓 ¹ ・尾崎 克久 ² ・牧野 能士 ¹ ・内山 博允 ³ ・矢嶋 俊介 ³ ・河田 雅圭 ¹ (東北大・生命 ¹ ・JT生命誌研究館 ² ・東農大・ゲノム ³)
PS085	カブラハバチ doublesex オルソログの同定とその機能解析 ○峰 翔太郎 ¹ ・畠山 正統 ² ・炭谷 めぐみ ² ・青木 不学 ¹ ・鈴木 雅京 ¹ (東京大学 ¹ ・農研機構 ²)
PS086	神経系を介した交尾依存的なメス生殖幹細胞の増殖の制御 ○吉成 祐人 ¹ ・天久 朝恒 ¹ ・近藤 周 ² ・島田-丹羽 裕子 ³ ・谷本 拓 ⁴ ・丹羽 隆介 ¹ (筑波大・生命環境 ¹ ・NIG ² ・筑波大・TARAセ ³ ・東北大・院生命 ⁴)
PS087	ショウジョウバエの雄生殖原基における <i>branchless</i> の発現に必要な DSX 結合シスエレメントの探索 澤本 東海 (東大・院新領域・先端生命)
PS088	チョウ目昆虫における染色体リアレンジメントの特定 ○大野 瑞紀 ¹ ・藤本 章晃 ¹ ・上樂 明也 ² ・安河内 祐二 ² ・佐原 健 ¹ (岩大農 ¹ ・農研機構 ²)
PS089	小笠原産ハスモンヨトウより分離された微胞子虫株の胞子形成様式の解明 ○中村 春花 ¹ ・畠山 吉則 ¹ ・荒井 怜奈 ¹ ・高橋 萌会 ¹ ・三宅 祥平 ¹ ・千葉 沙由花 ¹ ・栗本 尚樹 ¹ ・岩野 秀俊 (日大生物資源応用研)
PS090	既知の国内分離株を用いた <i>Beauveria</i> 属糸状菌の系統解析 千葉 沙由花 (日本大学生物資源)
PS091	<i>Bacillus thuringiensis</i> のセイヨウミツバチへの影響調査とその原因究明 ○佐々木 太陽 ¹ ・国見 裕久 ¹ ・仲井 まどか ¹ ・井上 真紀 (農工大・院・農)
PS092	トンボ成虫から分離された新規微胞子虫株の系統関係 ○栗本 尚樹 ¹ ・畠山 吉則 ¹ ・井村 祐二 ¹ ・千葉 沙由花 ¹ ・中村 春花 ¹ ・高橋 萌会 ¹ ・三宅 祥平 ¹ ・志賀野 倫明 ¹ ・山本 裕一 ¹ ・岩野 秀俊 (日大生物資源応用研)
PS093	ガーナ産野外捕集蚊から分離された新規 RNA ウイルスの性状解析 ○小林 大介 ^{1,2,3} ・伊澤 晴彦 ² ・藤田 龍介 ^{2,4} ・Joseph Osei ⁵ ・Esinam Agbosu ⁵ ・Kofi Bonney ⁵ ・Samuel Dadzie ⁵ ・大橋 光子 ¹ ・沢辺 京子 ² ・太田 伸生 ¹ (東京医科歯科大・院 ¹ ・感染研 ² ・昆虫医科 ² ・学振 DC1 ³ ・日本医療研究開発機構 ⁴ ・ガーナ大・野口研 ⁵)
PS094	昆虫ボックスウイルスが生産する寄生蜂致死タンパク質は細胞に作用する ○太田 理絵 ¹ ・立石 剣 ² ・井上 真紀 ¹ ・国見 裕久 ¹ ・仲井 まどか ¹ (農工大・農 ¹ ・農研機構 ²)
PS095	殺虫時間が異なる2種のアスコウイルスを用いたウイルスタンパク質の比較 ○石井 宏貴 ¹ ・国見 裕久 ¹ ・井上 真紀 ¹ ・仲井 まどか ¹ (農工大 院・農)
PS096	殺虫スピードの異なるチャノコカクモンハマキ感染性の核多角体病ウイルス2株における感染組織の比較 ○辻野 悠陽 ¹ ・井上 真紀 ² ・国見 裕久 ² ・仲井 まどか ² (農工大・農 ¹ ・農工大 院・農 ²)
PS097	核多角体病ウイルス選抜チャノコカクモンハマキ系統の顆粒病ウイルスに対する交差抵抗性の抵抗性機構と遺伝様式 ○岩田 賢人 ¹ ・鶴田 景子 ¹ ・国見 裕久 ¹ ・井上 真紀 ¹ ・仲井 まどか ¹ (農工大 院・農)
PS098	<i>Bacillus thuringiensis</i> TK-E6株由来の Cry46Ab の殺ポウフラ活性 ○植田 翔 ¹ ・黒川 亜美 ² ・榎本 純 ² ・東 慶直 ^{1,2} ・早川 徹 ³ ・武部 聡 ^{1,2} (近畿大・院・生物理工 ¹ ・近畿大・生物理工 ² ・岡山大・院・自然科学 ³)
PS099	チャノコカクモンハマキ核多角体ウイルス抵抗性チャノコカクモンハマキ系統の <i>Autographa californica</i> 核多角体病ウイルスに対する交差抵抗性 ○立澤 杜泰 ¹ ・岩田 賢人 ² ・高務 淳 ³ ・井上 真紀 ² ・国見 裕久 ² ・仲井 まどか ² (農工大・農 ¹ ・農工大 院・農 ² ・森林総研 ³)
PS100	コクヌストモドキ幼虫における経口 RNAi への取り組み ○志賀 正太郎 ¹ ・早川 優輝 ¹ ・澤田 光希 ¹ ・関 公貴 ¹ ・水口 智江可 ¹ ・三浦 健 (名大院・生命農)
PS101	テナガショウジョウバエのオス脳特異的遺伝子の発現解析 — 社会経験の与える影響 — ○工藤 愛弓 ¹ ・松尾 隆嗣 ¹ ・石川 幸男 (東大院・農)
PS102	フジコナカイガラムシの顕著な性的二型形成における幼若ホルモンの役割 ○田中 彩友美 ¹ ・Isabelle Vea ¹ ・三浦 健 ¹ ・水口 智江可 ¹ (名大院・生命農学)
PS103	卵休眠のためのエクジステロイド生合成機構の解明 ○香嶋 郁美 ¹ ・藤永 大輝 ¹ ・荻原 麻理 ¹ ・片岡 宏誌 (東大院・新領域)
PS104	HSF の選択的スプライシングによる乾燥耐性制御機構の解明 ○徳本 翔子 ¹ ・宮田 佑吾 ² ・Oleg Gusev ³ ・黄川田 隆洋 ^{4,1} (東大院 ¹ ・東工大 ² ・理研 ³ ・農研機構 ⁴)
PS105	トンボにおけるエレクトロポレーション法を用いた RNAi による機能阻害系の確立 ○奥出 絃太 ¹ ・二橋 亮 ² ・川原 玲香 ³ ・吉武 和敏 ⁴ ・矢嶋 俊介 ³ ・深津 武馬 ^{1,2} (東大 ¹ ・産総研 ² ・東京農大 ³ ・JSM ⁴)
PS106	コクヌストモドキの抗糸状菌感染防御における上皮バリアのはたらき: <i>Laccase 2</i> 及び <i>yellow-e</i> 遺伝子について ○早川 優輝 ¹ ・加藤 大貴 ¹ ・神谷 克巳 ² ・水口 智江可 ¹ ・三浦 健 ¹ (名大院・生命農 ¹ ・岐阜県農業技術センター ²)
PS107	宿主植物の防御反応を制御するナミハダニのエリシタータンパク質の同定 ○飯田 隼也 ¹ ・根本 圭一郎 ² ・松井 司 ¹ ・波多 久美子 ¹ ・澤崎 達也 ² ・有村 源一郎 ¹ (東京理科大学生物工学 ¹ ・愛媛大学 ²)
PS108	オオルリジミ(ジミチョウ科)の遺伝的多様性と分子系統地理 ○伊藤 勇人 ¹ ・阿部 芳久 ² ・三浦 一芸 ³ ・村田 浩平 ⁴ ・山下 秀次 ⁴ ・高尚均 ⁵ ・王 敏 ⁶ ・矢後 勝也 ⁷ (九州大院・地社 ¹ ・九州大院・比文 ² ・西日本農研・広島大 ³ ・東海大・農 ⁴ ・韓国蝶学会 ⁵ ・華南農大 ⁶ ・東京大・総研博 ⁷)
PS109	ヨモギクキオオシロケフシを形成するヨモギタマバエの特定 ○千葉 汀 ¹ ・千葉 美智雄 (宮城県仙台第三高等学校)

PS110	交信かく乱によるアジア型マイマイガ (AGM) の交尾阻害 ○峯岸 啓之・中牟田 潔 (千葉大・院・園芸)
PS111	酸素濃度調節によるナミハダニ防除の検討 ○山川 颯太 ¹ ・鈴木 丈詞 ² (農工大 農学部 ¹ ・農工大院 BASE ²)
PS112	ゼニコケの揮発性物質が有する防衛能の系統的違い ○鈴木 麻衣子 ¹ ・上船 雅義 ¹ ・小澤 理香 ² ・松井 健二 ³ ・高林 純示 ² (名城大農 ¹ ・京大生態研 ² ・山口大院創成科学(農) ³)
PS113	黄色点滅LED光によるイラクサギンウワバ (<i>Trichoplusia ni</i>) の行動抑制 ○佐々木 雅裕・野村 昌史 (千葉大院 応用昆虫)
PS114	凍結耐性を示すヌマエラビルの細胞組織変化及び飼育法に関する研究 ○関口 由起 ¹ ・原川 明宏 ¹ ・鈴木 大 ² ・鈴木 徹 ¹ (東京海洋大学大学院 ¹ ・九州大学 ²)
PS115	フタホシオオロギの食用化に向けた生産システムの検討 ○高井 将光 ¹ ・渡邊 崇人 ^{2,3} ・友成 さゆり ¹ ・三戸 太郎 ^{1,3} (徳島大・生物工 ¹ ・徳島農技センター ² ・徳島大・生物資源 ³)
PS116	環境中の被ばく形態に対応した放射線影響評価: カイコを利用した放射線の内部被ばく及び外部被ばくに対する影響評価手法の探索 ○田中 草太 ¹ ・木野内 忠稔 ² ・足達 太郎 ³ ・高橋 知之 ² ・高橋 千太郎 ^{1,2} (京大院 農学 ¹ ・京大原子炉 ² ・東京農大 ³)

ポスター発表(正会員)

28日 コアタイム: 奇数番号 13:00~14:00, 偶数番号 14:00~15:00

PG201	カイコ限性黄繭系統蛹から抽出したDNAによるPCR実験教材の開発 ○野崎 真史 ¹ ・片山 豪 ² (群馬県立高崎女子高 ¹ ・高崎健大 ² ・人間発達 ²)
PG202	寄生蜂の選択的探索行動を解発する宿主由来のカイロモン -ハチが学習するのは単一成分か、ブレンドか?- ○柴尾 晴信 ¹ ・笹川 幸治 ² ・石井 弓美子 ³ ・松山 茂 ⁴ ・嶋田 正和 ¹ (東大 ¹ ・総合文化 ¹ ・千葉大 ¹ ・教育 ² ・国環研 ³ ・筑波大 ³ ・生命環境 ⁴)
PG203	水田におけるヒメイトアメンボの生息状況と殺虫剤感受性 ○村田 浩平 ¹ ・田中 幸一 ² (東海大 ¹ ・農 ¹ ・農研機構農業環境変動研究センター ²)
PG204	カンキツのユキヤナギアブラムシに対する閉鎖系での各種薬剤の殺虫効果 ○小川 遼 ¹ ・宮下 裕司 ² ・金崎 秀司 ¹ ・崎山 進二 ¹ (愛媛県果樹研セ ¹ ・愛媛県農産園芸課 ²)
PG205	なぜ内部寄生蜂は若齢を寄主に好むのか ○藤田 隼 ¹ ・藤見 純也 ¹ ・中松 豊 ¹ ・田中 利治 ² ・加藤 良晃 ³ (皇學館大 ¹ ・教育 ¹ ・名大 ¹ ・農国セ ² ・BASF ³)
PG206	クロヒラアシキバチによるクマノミズキへの加害とその寄生蜂相 ○古崎 敦也 ¹ ・藏満 司夢 ¹ ・石原 輝人 ¹ ・山田 秀雄 ² ・渡辺 恭平 ³ ・杉田 あき ¹ ・木下 奈都子 ¹ (筑波大 ¹ ・生命環境 ¹ ・筑波大 ¹ ・農技セ ² ・神奈川 県博 ³)
PG207	アカリンダニによるニホンミツバチの発熱能力の低下 ○前田 太郎 ¹ ・坂本 佳子 ² (農研機構 ¹ ・国環研 ²)
PG208	昆虫間相互作用に対し農業用殺菌剤が与える影響について:ペノミルと寄生蜂 新川 徹 (農研機構生物機能利用)
PG209	セミ-細菌-真菌による3者複合共生系の進化 ○松浦 優 ^{1,2} ・森山 実 ² ・Lukasik Piotr ³ ・棚橋 薫彦 ² ・孟 憲英 ² ・Vanderpool Dan ³ ・菊池 義智 ² ・McCutcheon John ³ ・深津 武馬 ² (琉大 ¹ ・熱生 研 ¹ ・産総研 ¹ ・生物プロセス ² ・Univ. Montana ³)
PG210	ハスモンヨトウで見つかった全個体がメスになる現象 ○新谷 喜紀 ¹ ・吾郷 和也 ¹ ・長峯 啓佑 ¹ ・陰山 大輔 ² ・菅野 善明 ³ ・寺尾 美里 ¹ (南九州大 ¹ ・昆虫生態 ¹ ・農研機構 ² ・南九州大 ¹ ・植物病理 ³)
PG211	大腸菌を昆虫の必須共生細菌に進化させる~人工進化に伴う大腸菌遺伝子発現変化 ○古賀 隆一 ¹ ・西出 雄大 ² ・小野寺(谷藤)直子 ¹ ・深津 武馬 ¹ (産総研 ¹ ・農研機構 ²)
PG212	ビロウドカミキリにおける細胞内共生細菌の解析 ○相川 拓也 ¹ ・市原 優 ² ・升屋 勇人 ¹ ・安佛 尚志 ³ ・前原 紀敏 ¹ ・中村 克典 ¹ (森林総合研究所東北支所 ¹ ・森林総合研究所関西支所 ² ・産業 技術総合研究所生物プロセス研究部門 ³)
PG213	行動の多様性は群集を安定化させる:密度依存と複雑性-安定性関係 川津 一隆 (龍谷大/JSPS)
PG214	寄生蜂による生息場所の移動に関わる嗅覚応答の変化 ○竹本 裕之 ^{1,2} ・吉村 仁 ³ (静岡大 ¹ ・グリーン研 ¹ ・静岡大 ¹ ・技術部 ² ・静岡大 ¹ ・工学部 ³)
PG215	食性の異なるテントウムシの比較トランスクリプトーム解析 田島 晴菜 ¹ ・菅野 晃平 ¹ ・長島 孝行 ¹ ・内山 博允 ² (東農大農 ¹ ・東農大ゲノムセンター ²)
PG216	コガタシマトビケラ初期成長段階に対するスピロメシフェンの影響 横山 淳史 (農業環境変動研究センター)
PG217	水田における環境保全型農法が害虫と捕食者の個体数に与える影響 ○馬場 友希 ¹ ・片山 直樹 ¹ ・田中 幸一 (農研機構 農環研)
PG218	タカサゴシロアリの兵隊分化におけるsmall-RNAシーケンス解析 ○榎 浩平 ^{1,2} ・水口 智江可 ² ・外川 徹 ¹ (日大 ¹ ・文理 ¹ ・名大院 ¹ ・生命農 ²)
PG219	人工飼料を利用した養菌性キクイムシ成虫の成熟評価法の確立 ○水野 孝彦 ¹ ・梶村 恒 (名大院 ¹ ・生命農)
PG220	旭川近郊のマルハナバチ相~セイヨウによる在来種への影響と防除に向けて~ ○奥寺 繁 ¹ ・畑田 隆之介 (北海道教育大旭川)
PG221	飛ばないナミテントウ“トバテン”と野生型の植物株上における行動の比較 木下 智章 ¹ ・安達 修平 ² ・世古 智一 ³ ・徳田 誠 ¹ (佐賀大 ¹ ・農 ¹ ・鹿大院 ¹ ・連合農学 ² ・農研機構 ² ・西日本農研 ³)
PG222	繁殖干渉は競争関係にあるマメゾウムシ2種の個体群動態を左右するか? ○片山 昇 ¹ ・京極 大助 ² ・天井 弘基 ² ・有川 哲平 ² ・川瀬 貴礼 ² ・近藤 倫生 ² (京大 ¹ ・生態研センター ¹ ・龍大 ¹ ・理工学部 ²)
PG223	新芽の色が異なるサツマイモ品種間での昆虫による食害の比較 井出 純哉 (久留米工大・工・教育)
PG224	二次林に生息する節足動物の群集決定要因:林分構造と周辺景観による説明力の検討 ○原口 岳 ¹ ・長谷川 元洋 ¹ ・滝 久智 ¹ ・服部 力 ¹ ・松浦 俊也 ¹ ・佐藤 保 ¹ ・岡部 貴美子 (森林総合研究所)
PG225	腐朽材食性のコガネムシ上科幼虫における空中窒素の利用割合と生息環境のC/N比との関係 ○三島 達也 ¹ ・細谷 忠嗣 ² ・兵藤 不二夫 ³ ・荒谷 邦雄 ¹ (九大院 ¹ ・比文 ¹ ・九大 ¹ ・決断科学センター ² ・岡山 ¹ ・異分野コア ³)
PG226	クリタマバチー導入寄生蜂ー在来随意高次寄生蜂:35年間の個体数変動傾向 志賀 正和 (土浦市)
PG227	コナガの産卵抑制と捕食性天敵ツヤヒメハナカメムシの花に対する選好性 ○釘宮 聡一 ¹ ・下田 武志 ² (農環研セ ¹ ・中央農研セ ²)
PG228	ホソヘリカメムシにおける光周期の変化に応答する遺伝子の探索 宇高 寛子 ¹ ・洲崎 雄 ¹ ・沼田 英治 (京大 ¹ ・院理)
PG229	モンシロチョウ成虫における毛状鱗粉形成の内分調機構 勇村 悠介 ¹ ・前平 剛史 ² ・落合 正則 ³ ・北沢 千里 ⁴ ・山中 明 ⁵ (山口大 ¹ ・院医系 ¹ ・応用分子 ¹ ・山口大 ¹ ・理 ¹ ・自然情報 ² ・北大 ³ ・低温研 ³ ・山口 大 ¹ ・教育 ¹ ・理科教育 ⁴ ・山口大 ¹ ・院創成科学 ⁵)
PG230	種々の昆虫を材料とした初代培養と新規細胞株の樹立に向けた研究 ○渡邊 和代 ¹ ・秋月 岳 ² (農研機構 ¹ ・遺伝資源 ¹ ・農研機構 ¹ ・生物機能 ²)
PG231	北海道で発生が確認されたジャガイモシロシストセンチュウのパソタイプ ○奈良部 孝 ¹ ・浅野 賢治 (農研機構 ¹ ・北農研)
PG232	サツマイモネコブセンチュウの増殖を抑制するセイヨウチャヒキ「KH1a」 ○上杉 謙太 ¹ ・桂 真昭 ¹ ・上床 修弘 ¹ ・村田 岳 ¹ ・立石 靖 ² (農研機構 ¹ ・九沖農研 ¹ ・農研機構 ¹ ・中央農研 ²)
PG233	クロコブゾウムシの線虫 <i>Bursaphelenchus niphades</i> はマツノマダラカミキリに乗り移れるのか? ○前原 紀敏 ¹ ・神崎 菜摘 ² (森林総研東北 ¹ ・森林総研 ²)
PG234	リアルタイムPCRを用いた九州地方主要土壌からの線虫検出・定量手法の検討 村田 岳 (農研機構 ¹ ・九州研)
PG235	土地利用情報を用いた斑点米被害予測:モデルの構築・検証とハザードマップ作成 ○田淵 研 ¹ ・降幡 駿介 ^{1,2} ・奥寺 繁 ^{1,3} ・高橋 明彦 ¹ (農研機構東北農研 ¹ ・国立環境研 ² ・北海道教育大旭川校 ³)

PG236	イネウンカ類飛来予測モデルの着地過程の検討 大塚 彰 (農研機構革新工学セ)
PG237	ビワ果実袋の虫害抑制効果に関するメタアナリシスとオッズ比による評価 ○清水 健 ¹ ・河名 利幸 ¹ ・三平 東作 ² ・大谷 徹 ³ (千葉県農林総研セ暖地 ¹ ・千葉県農林総研セ ² ・千葉県庁 ³)
PG238	トドマツオオアブラムシによるトドマツ若齢木の被害と保育コストの増加 佐藤 重穂 (森林総研北海道)
PG239	コクヌストモドキに対する化学薬剤と昆虫病原系状菌の同時処理効果 ○神谷 克巳 ^{1,2} ・関 公貴 ² ・澤田 光希 ² ・水口 智江可 ² ・三浦 健 ² (岐阜農技セ ¹ ・名大院・生命農 ²)
PG240	メタリジウム菌の野草根圏における分布傾向とポット栽培植物の根圏における定着能力 ○西 大海 ^{1,2} ・佐藤 大樹 ² (学振PD ¹ ・森林総研 ²)
PG241	Identification of genes responding to systemic dsRNA ingestion in the two-spotted spider mite, <i>Tetranychus urticae</i> ○Kwon Deok Ho・Park Ji Hyun・Lee Si Hyeock (Seoul National University)
PG242	Rice ragged stunt virusを保毒したトビイロウンカ体内における遺伝子発現解析 ○村上 理都子・勾坂 晶・上樂 明也・田中 博光 (農研機構)
PG243	解毒分解酵素遺伝子過剰発現による殺虫剤抵抗性発達の分子メカニズムの解析 ○横井 翔 ¹ ・中村 有希 ² ・上樂 明也 ¹ ・山本 公子 ¹ ・篠田 徹郎 ¹ ・秋月 岳 ¹ (農研機構・生物機能 ¹ ・農研機構・果樹茶 ²)
PG244	Multiplex-PCRによるカエデ類苗木を加害するカミキリムシ類の識別法の開発 天野 貴之 (横浜植防)
PG245	昆虫の大アゴに蓄積するZn分布の測定 ○中村 ちひろ ¹ ・横山 政昭 ¹ ・岡田 泰和 ² ・藤岡 春菜 ² (榊場テクノサービス 分析技術センター ¹ ・東京大学大学院 総合文化研究科 広域システム科学系 ²)
PG246	低温処理によるノシメダラメイガ卵の殺卵効果 ○木村 悟朗・谷川 力 (イカリ消毒(株)技術研究所)
PG247	direct PCR技術の利用によるハダニ類の簡易同定の迅速化 ○坂本 洋典・後藤 哲雄 (茨城大・農)